

2020 日本 ID 陸上競技選手権大会参加関係者

【重要】2020 日本 ID 陸上競技選手権大会へ参加するにあたって(第 2 版)

新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの大会開催にあたり、選手・支援者の皆様には様々な面において御協力いただきありがとうございます。第 1 版からの変更点がありますので、御確認ください。また 9 月 28 日より、選手・支援者ともに「(大会前)体調管理チェックシート」の記入が始まります。大会参加にあたっては、所定の書類提出が必須となりますのでご協力をよろしくお願い致します。

○郵送物について

- ・ナンバーカード
- ・準備書類関係(HP でもダウンロード可能)
選手誓約書、同意書(選手・支援者)、(大会前提出用)体調管理チェックシート(選手・支援者)、大会参加にあたってのチェックリスト(参加者留意事項)(選手・支援者)
今年は事前に、連盟登録時に記載した「文書送付先住所」に郵送します。

○大会当日の持参品

- ・ナンバーカード(今大会は安全ピンを各自持参してください。)
- ・マスク
- ・荷物用ビニール袋(招集から競技終了までの荷物入用。各自名前やナンバーを記載しておくこと。)
- ・準備書類(詳細は以下を確認すること。)

○準備書類

【選手：事前送付 1 種類、当日持参 3 種類】

- 1 選手誓約書：署名捺印の上、10 月 5 日〆切で事務局へ提出。(PDF をメール添付。もしくは郵送。)
- 2 同意書(選手用)：署名し、大会当日に持参。
- 3 (大会前 提出用)体調管理チェックシート：✓、必要項目に記入し、大会当日に持参。
- 4 大会参加にあたってのチェックリスト(参加者留意事項)：✓、署名し、当日持参。

【支援者：当日持参 4 種類】

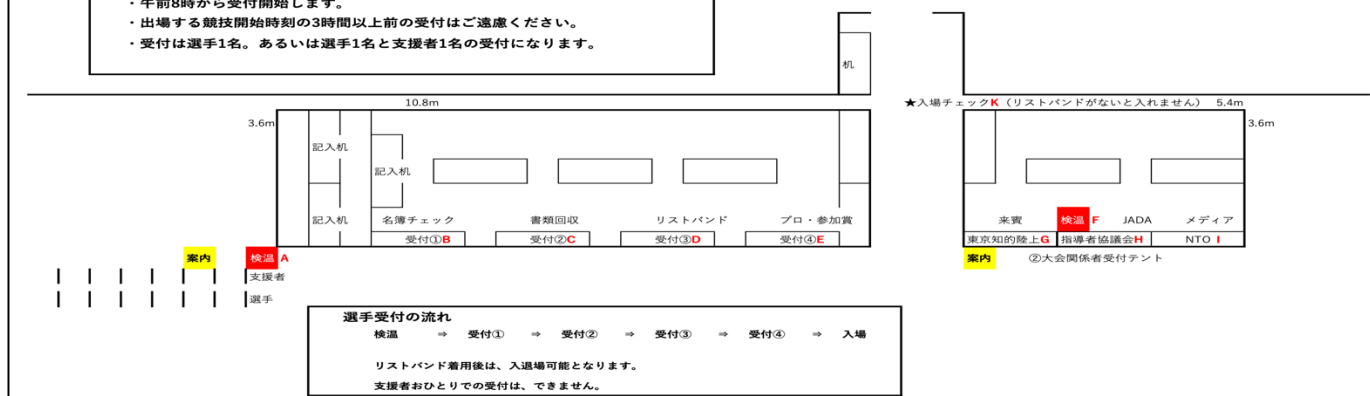
- 1 提出物確認シート：✓、必要事項に記入し、大会当日に持参。
- 2 同意書(支援者用)：署名し、大会当日に持参。
- 3 (大会前 提出用)体調管理チェックシート：✓、必要項目に記入し、大会当日に持参。
- 4 大会参加にあたってのチェックリスト(参加者留意事項)：✓、署名し、当日持参。

○受付について



選手受付について

- ・午前8時から受付開始します。
- ・出場する競技開始時刻の3時間以上前の受付はご遠慮ください。
- ・受付は選手1名。あるいは選手1名と支援者1名の受付になります。

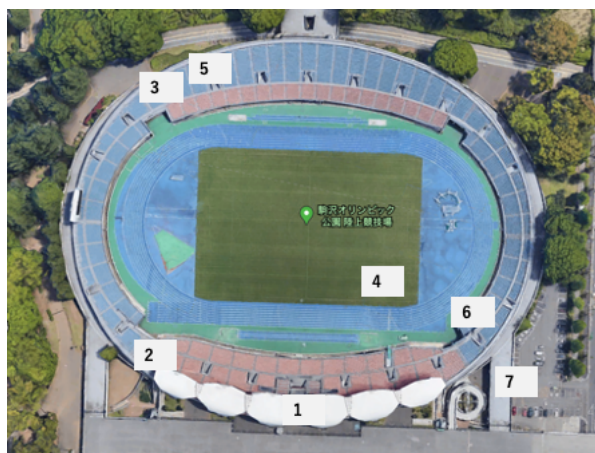


- ・受付作業は競技場外に設置したテントで行う。
- ・名簿チェック→書類提出→リストバンド着用→プログラム受け渡しの順で行う。詳細は図を確認すること。
- ・支援者は選手と同伴して受付すること。**支援者単独での受付は受理しない。**
- ・受付での密集を避けるため、**競技開始 3 時間以上前の受付は控える**ようご協力ください。
- ・サーモカメラの設置はせずに、非接触型体温計で受付時に検温を実施する。
- ・コンコースへは**リストバンド着用者のみ**入場できる。紛失破損等による再発行はしない。
- ・コンコース入場後は密を避け、各自待機場所を設けることができる。
- ・入場の正面に知的陸連本部、TIC、感染対策室、招集所、更衣テント等を設置する。知的陸連で利用するスペースの中で待機しないこと。

○更衣テントの利用について

- ・更衣テントは密を回避するため、1 度の利用人数を上限 12 名とする。
- ・入口と出口を一方通行とするので、係員の指示に従うこと。
- ・入退室時に、手指消毒を行うこと。

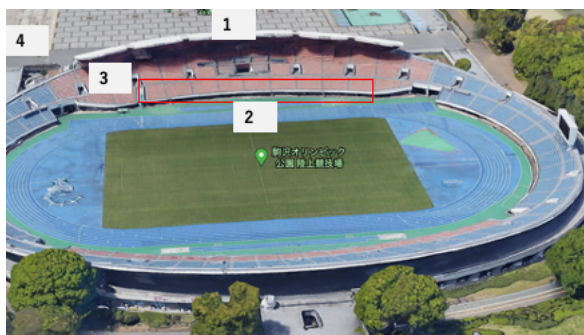
○選手導線について



- ・招集での密集を回避するため、「組ごとに招集」を行う。時間が短いので留意すること。時刻より早い招集所への来場は密を発生させるリスクがあるので、時刻を守ること。
- ・競技の運営状況により招集時刻が変わる可能性がある。情報は全て知的陸連 Facebook ページ「<http://www.facebook.com/jidaf.koho/>」で知らせる。事前に登録等済ませておくこと。
- ・写真 1 地点で招集を行う。この際にスパイクチェックやナンバーカード確認を実施する。
- ・組ごとにグラウンドレベルへ階段を下りて移動する。組ごとに担当者を配置するので、指示に従うこと。**マスク着用**を義務付ける。ここから先は私語をしない。
- ・写真 2 地点で競技を行う準備(ユニフォームになる、スパイクを履く、マスクを外す等)をする。
- ・写真 3 地点の競技場所(200m の場合)へ荷物を持って移動し、スタートする。

- ・写真 4 地点でゴール後、組担当者の指示に従って速やかに移動する。ゴール後に**他の選手らとの握手や談笑、倒れ込み等のないように**すること。
- ・組でまとまってバックストレートを通り、写真 5 地点へ荷物を取りに行く。
- ・組でまとまって写真 6 地点の選手退場口まで移動する。
- ・写真 7 地点で支援者と合流する。もしくは 1 人で待機場所まで戻る。
- ・今大会は表彰を実施せず、入賞者に対しては、後日表彰物等を郵送する。

○支援者導線について



- ・スタンドに入ることができるのは選手 1 名につき支援者 1 名。
- ・**スタンドに入る支援者は、選手の招集と同伴すること。リストバンド、マスク着用**を義務付ける。
- ・写真はバックストレートからメインスタンドを見たものである。写真 1 地点から入場し、支援の対象選手の競技終了後は出口専用の写真 3 地点から退場すること。
- ・写真 2 地点の赤枠で囲まれている地点はフィールドのコーチングにのみ使用すること。赤枠へはコーチングする際のみ入場すること。それ以外は**2 段目以後の席を利用すること**。また、走高跳ややり投等、メインスタンドからコーチングすることができない種目に関しては、写真地点 1 から入場後、各種目の競技エリアに近いスタンドへ移動することができる。

- ・迎えが必要な選手は、写真 4 地点の選手退場口で合流すること。
- ・スタンドでの**声を出しての応援は厳禁**。拍手のみ可能。

○競技映像の配信について

- ・競技中の映像を撮影し、配信する準備を進めている。詳細が決定次第、HP にて連絡する。

- 大会中は「大会参加にあたってのチェックリスト(参加者留意事項)」をもとに行動すること。
 - ・マスク 活動していない時、待機している時は着用すること。
 - ・リストバンド 受付で係員が装着します。入場条件です。常時(競技中含む)着用してください。
 - ・個人用タオル 共用しない。
 - ・ゴミ袋 基本的にゴミは各自持ち帰ること。
 - ・手指消毒の励行 設置したポンプ式アルコールスプレー、ハンドソープで手指消毒に努めること。
- 大会後は「(大会後提出用)体調管理チェックシート」を2週間記入すること。(HPでダウンロードすること。)提出を求める場合があるので、各自保管すること。大会後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、知的陸連事務局へ速やかに連絡をすること。
- 本選手権は以下のガイドライン等に則り開催する。関係者は各種ガイドライン等の再度の確認を行い、理解した上での参加とする。
- [日本知的障がい者陸上競技連盟「陸上競技再開についてのガイドライン」](#) 一部抜粋
 - ・競技会開催を管轄する自治体からイベントの開催が認められている。
 - ・競技会に関わる全ての人(審判員、競技者、コーチ等)の健康状態の管理体制を整える。
 - ・3密を回避。こまめに手洗いまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。マスクを着用する。
 - ・競技会終了後、2週間以内に発熱等の症状があった場合には最寄りの保健所、診療所(かかりつけ医)等に報告し、保健所、診療所等に相談後、必ず大会主催者に報告する。
 - ・密集場所の対策 陸上競技場諸室/招集所/スタート待機所/フィールド待機所において、ソーシャルディスタンスを確保できる使用人数で制限する。
- [公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた暗線拡大予防ガイドライン」](#) 一部抜粋
 - ・以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。(イベント当日に確認を行う)
 - ア 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛等の症状がある場合)
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- [公益財団法人日本障がい者スポーツ協会「パラアスリートのための感染症予防について」](#)
- [公益財団法人日本陸上競技連盟「陸上競技活動再開のガイダンスの資料【第2版】競技会開催について」](#)